

Q

個人や会社などでの、財産やお金の記録はいつ頃からあるの？

A

経営学部の1年で学ぶ科目に「簿記学」や「会計学」があります。これは、簡単に言うと会社のお金に関する収支や財産の変動を記録し、利益を計算するものです。簿記は歴史的に古くからあり、13・14世紀のイタリアの金融業者や商人では既に複式簿記が使用されていました。もともと簿記は数学から派生したものであり、1494年に出版された数学百科全書「スンマ」の中で簿記の章があります。これは、当時のベネチア商人の商取引を参考に書かれたものです。また、17世紀オランダでは、小数点を発見した数学者が簿記のテキストを書いています。

簿記の歴史は、経済の歴史や貨幣の歴史と密接に結びついています。簿記をお金の記録と単純に考えるならば、古代ギリシャ・ローマ時代やそれ以前の古代エジプト・バビロニア文明でも存在していたと考えられます。ただ、残念ながら古代遺跡とは違って、史料としては発見されていません。

